

内部・外部を問わず「組むこと」で課題解決力を高めよう。行政がリーダーシップを発揮し、

国民の利便性に資する部分というのは、**官だけで「ああしてはいけない、こうしてはいけない」ということを考えるのではなく、民間の知恵をかりていけばいいのではないか。**(⑤向井G)

「組む」ときに各自の責任分担をどうするかという問題があるが、プロジェクト・マネジメントを活用すれば、どこで齟齬が起きやすいか分かっているため、責任を明確にしなくても、必要な調整ができる。**管理の責任は、全体のプロジェクト・マネジャーが取る。**(⑥林)

ソーシャル・イノベーションという言葉が使われている。産官学民がそれぞれ何らかの問題意識を持って、社会的な問題がこれだけ増え、日本は課題先進国と言われているぐらいだから、それを一緒に考えていこうというのが最新の傾向(⑦会場意見)



(出典：第5回懇談会 インフォグラフィクス)



校長、教員、スクールソーシャルワーカーなどが参加して開かれるケース会議

(出典：第6回懇談会 丸山涼子さん資料)